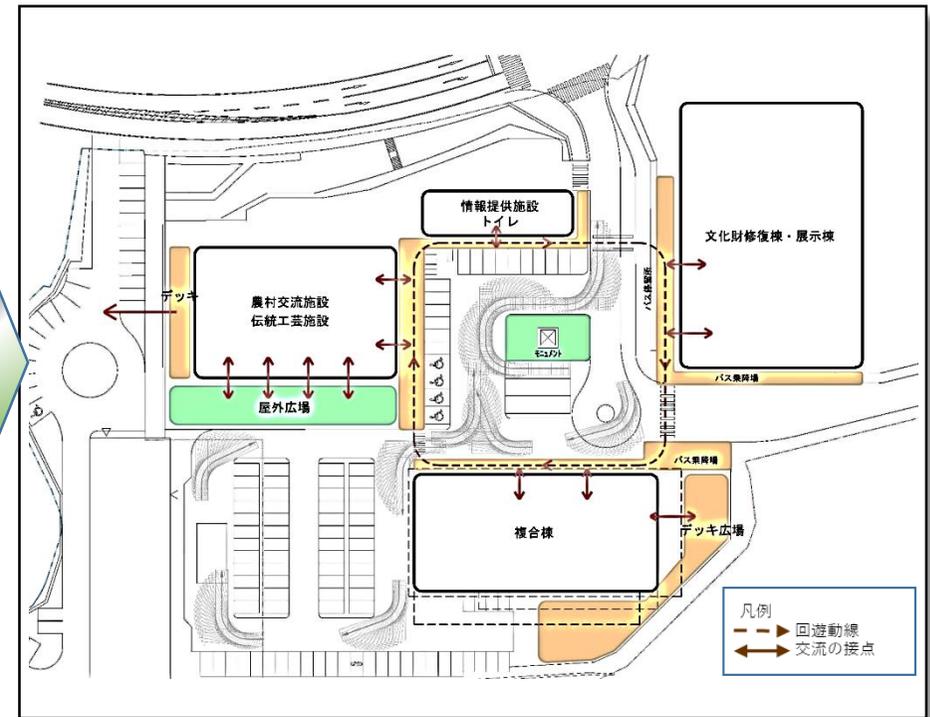


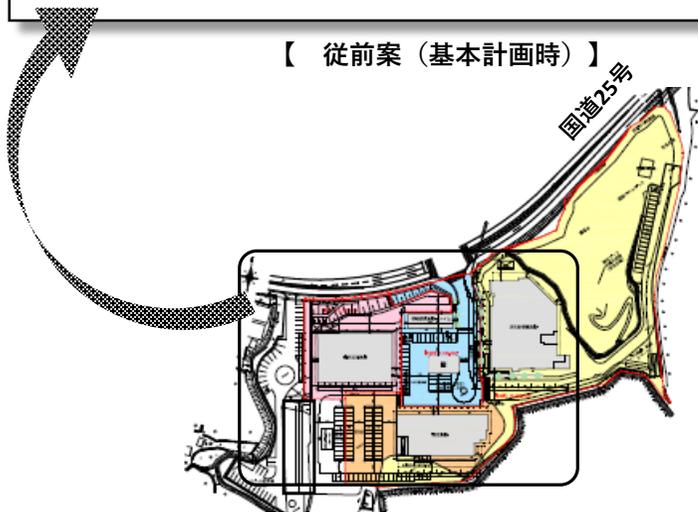
【 従前案（基本計画時）】



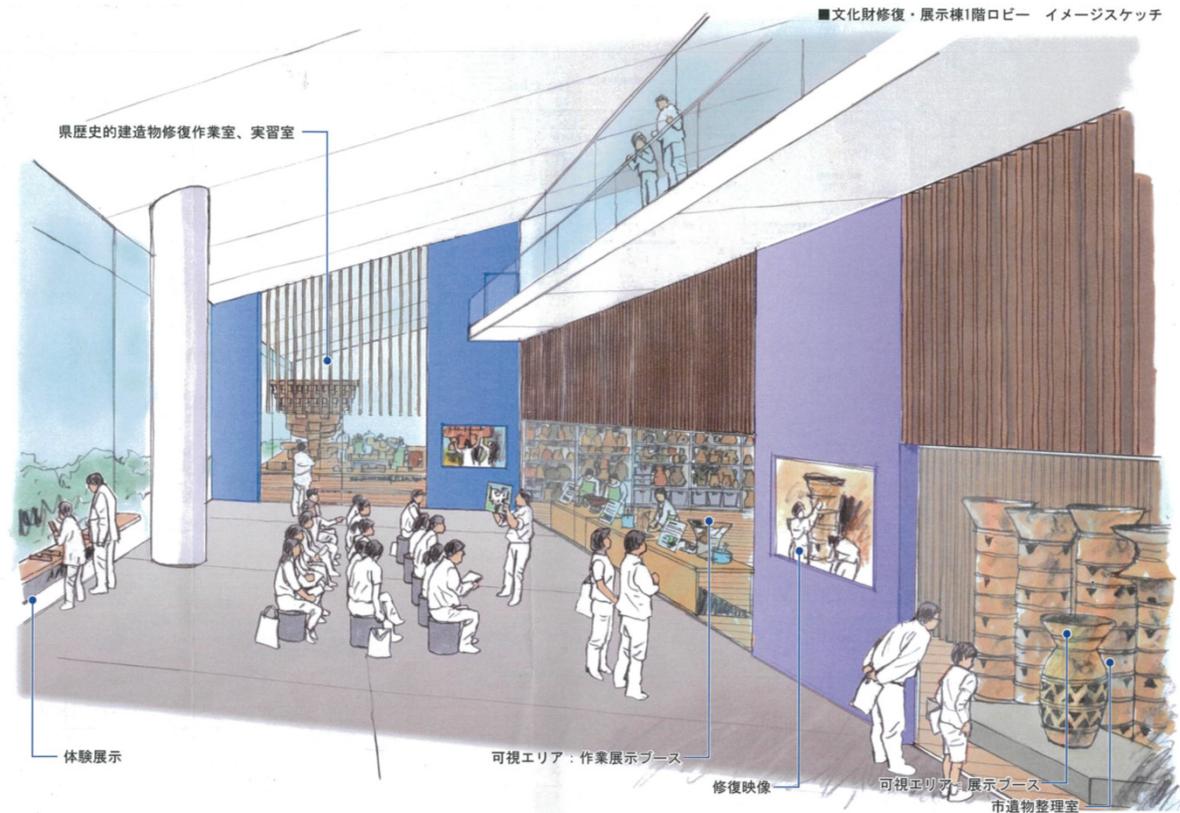
【 改善案（基本設計時）】

【改善点】

- ・ 大型バスをスムーズに転回させるため、情報提供施設を北側に移動
- ・ 「学ぶ」「遊ぶ」「食べる」「買う」施設間の連続性を意識し、一体感を高めた配置
- ・ 歩行者動線を意識し、回遊性を向上（各施設を繋ぐ回遊動線上に回廊を設置）
- ・ 来場者の各施設に対する視認性を向上

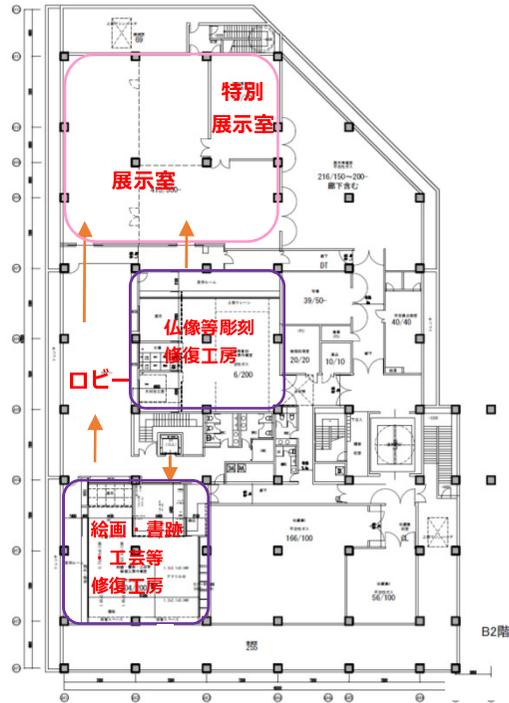


文化財修復・展示棟 (①)



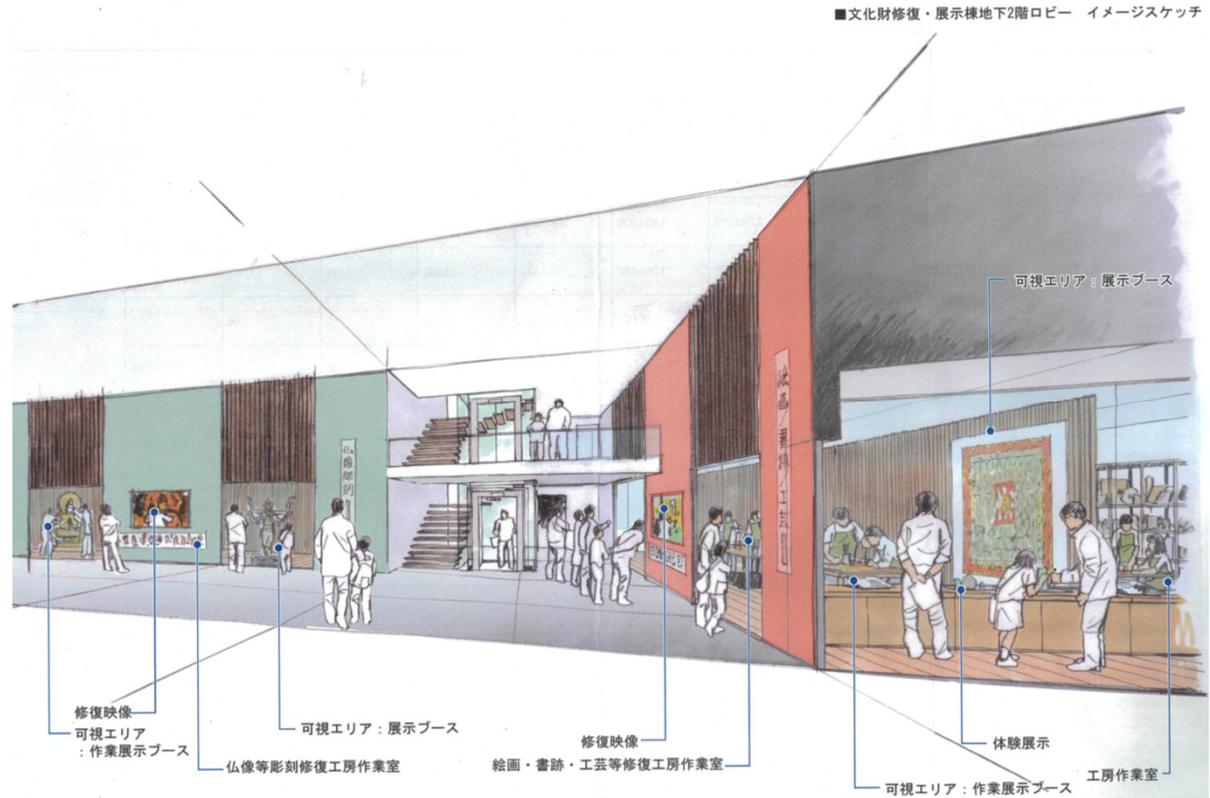
- ・県建造物修復作業室と考古遺物整理室（天理市連携）を配置
- ・多様な活動が行える見学ロビーを確保

文化財修復・展示棟 (2)

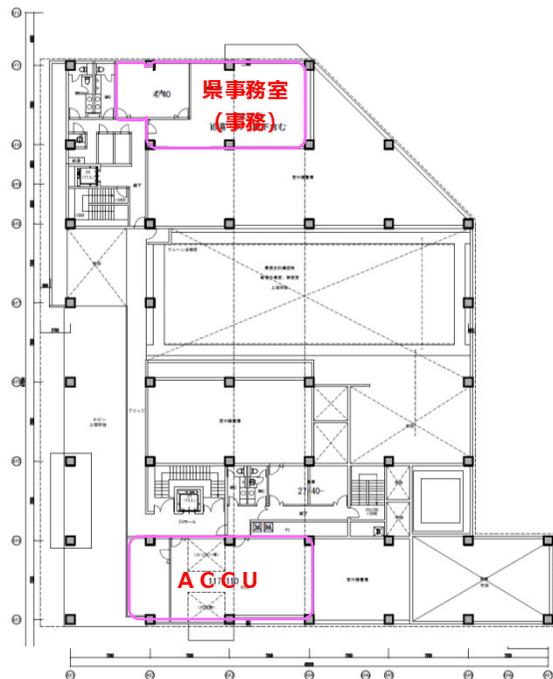


地下1階平面図

- ・ 仏像、絵画等工房と展示室を配置し、清浄な環境を確保
- ・ 工房前に十分な見学ロビーを確保
- ・ 見学ロビーに面して修復工程等を紹介する工房展示を配置
- ・ 工房内の公開方法について、時間制の導入や構造、設備上の配慮など入居予定者と調整中
- ・ 地質調査の結果、地下水位が高いため建物周囲にトレンチ等を設置し、遮水性を向上

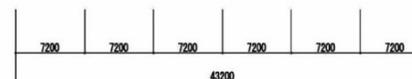


文化財修復・展示棟 (③)



2階平面図

- ・ 県文化財保存事務所（事務部門）とACCU事務室を配置
- ・ 屋根裏空間を活用し、外観意匠に配慮

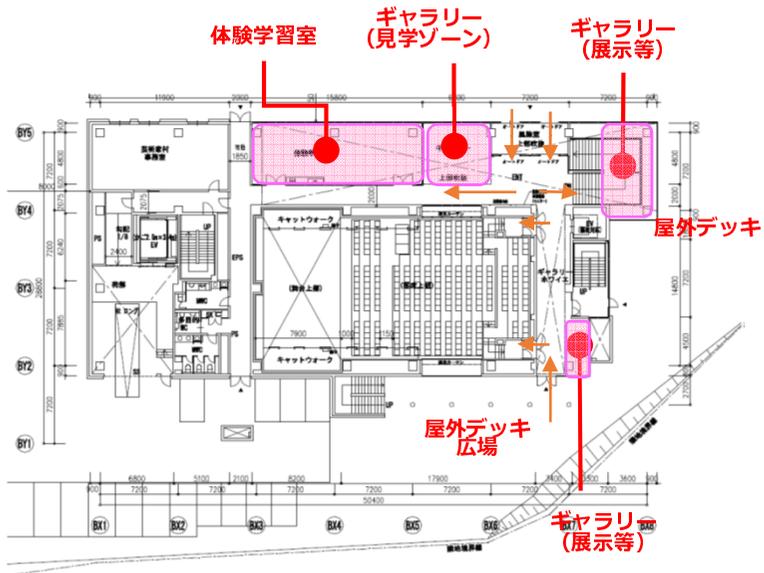


地下中1階平面図

- ・ 修復技術者控室（休憩室）を配置（工房への害虫等防護のため）

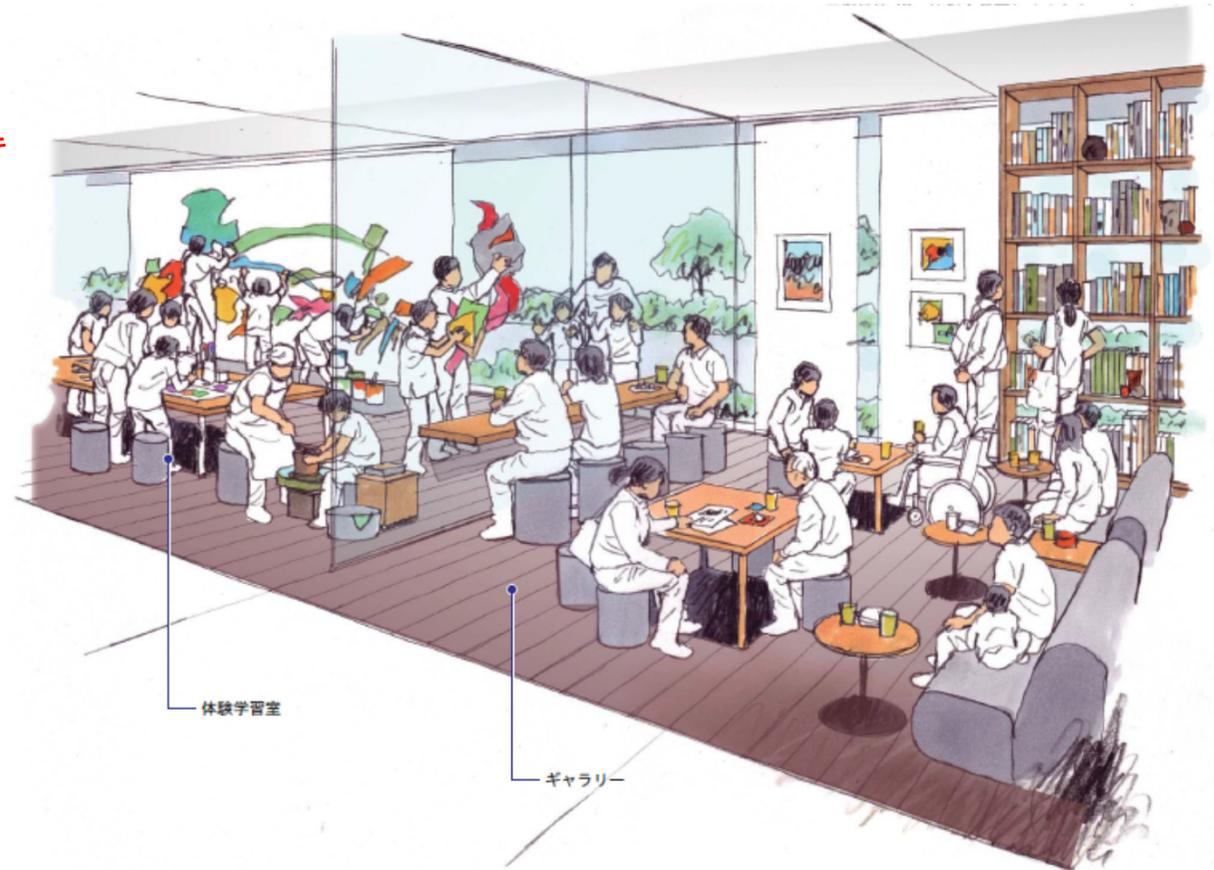


複合棟 (①)

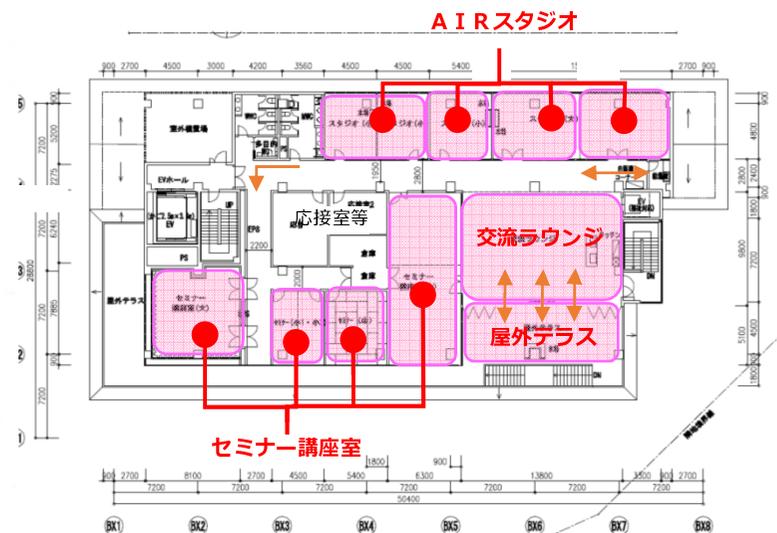
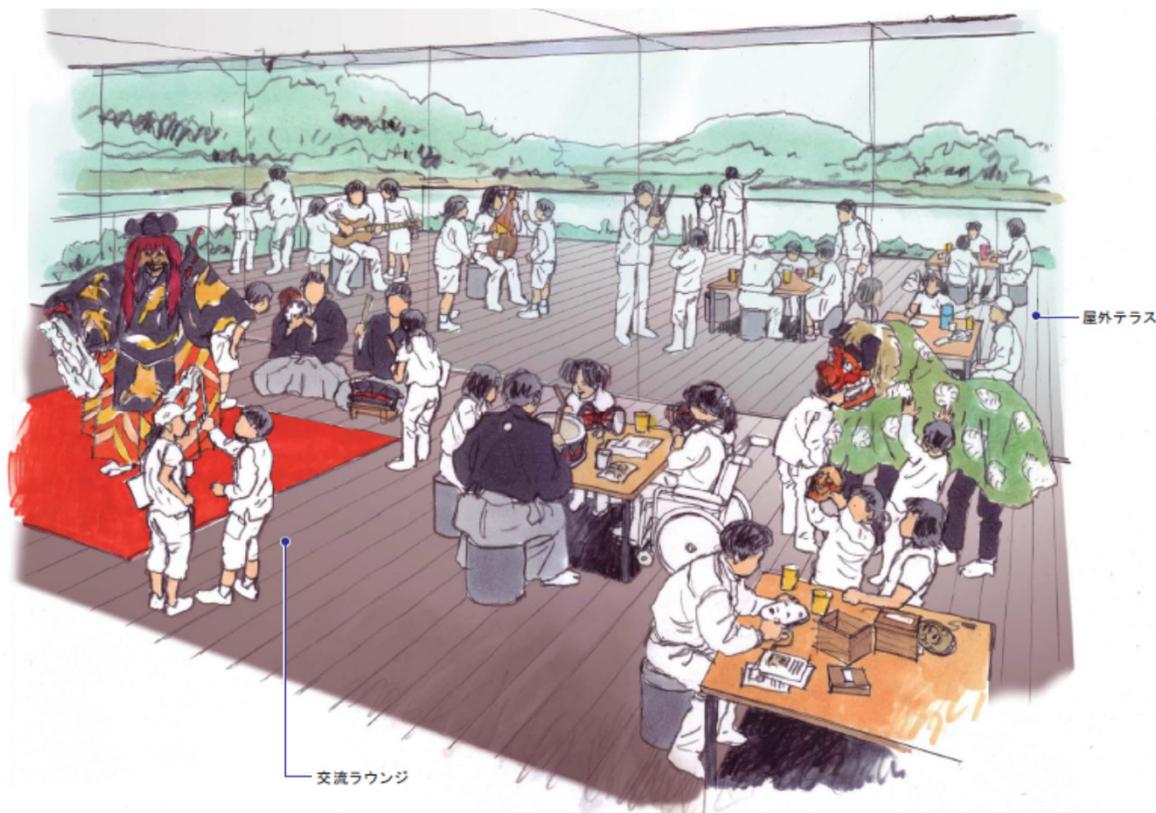


1階

- ・体験学習室を設置
- ・体験学習室に面してギャラリー（父母等が見学できるゾーン）を設置
- ・屋外デッキに面してギャラリー（芸術作品等展示）を設置し一体感を創出



複合棟 (2)



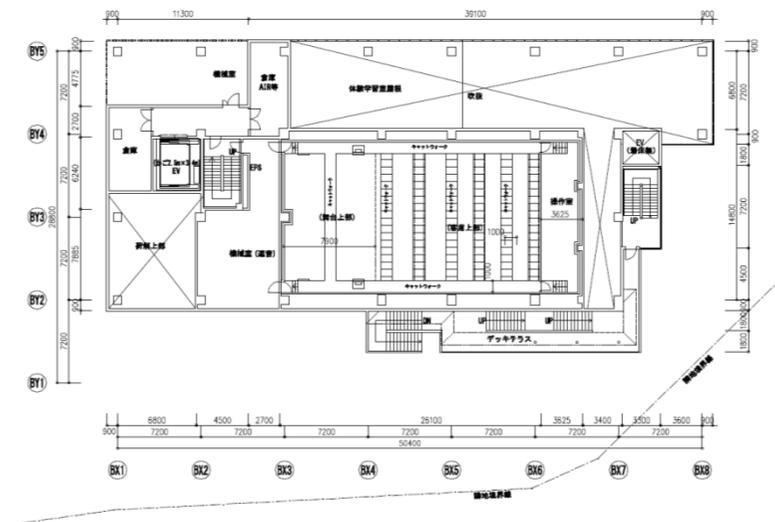
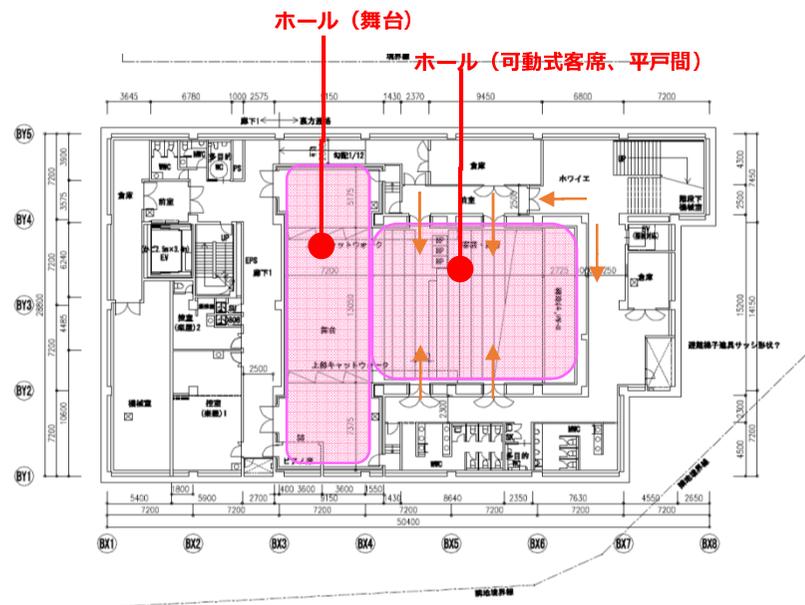
2階平面図

2階

- ・AIRスタジオ、セミナールームを設置
- ・眺望(池、山並み)の良い屋外テラスに面し、交流ラウンジを設置し、アーティスト等との交流ができるスペースとする



複合棟 (③)



地下1階平面図

中2階平面図

- ・ 講演会、演劇、音楽会などに対応した多目的ホール (300席程度可動式) を設置
- ・ 一定の音響性能を確保
- ・ 地質調査の結果、地下水位が高いため建物位置を変更するとともに、二重壁構造により遮水性を向上

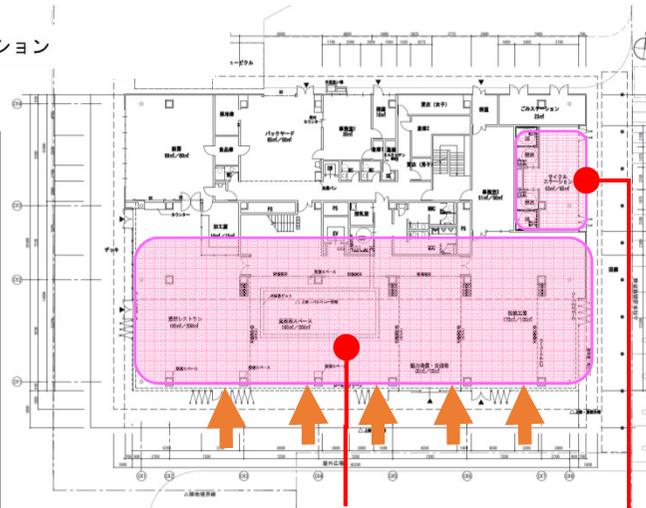


農村交流施設・伝統工芸施設・サイクルステーション、情報提供施設・トイレ (道の駅)

農村交流施設、伝統工芸施設、サイクルステーション

1階

- ・農家レストラン、農産物等直売所、加工室、伝統工芸施設、魅力発信・交流等多目的スペースを設置
- ・「食べる」「買う」などを一体的に展開出来る区切りの無い大空間（交流ゾーン）を前面部に設置
- ・サイクルステーション（男女別シャワールーム・更衣室・メンテナンスルーム）を駐車場に面して設置



交流ゾーン
(農家レストラン、農産物等直売所、
多目的スペース、伝統工芸施設)

サイクル
ステーション

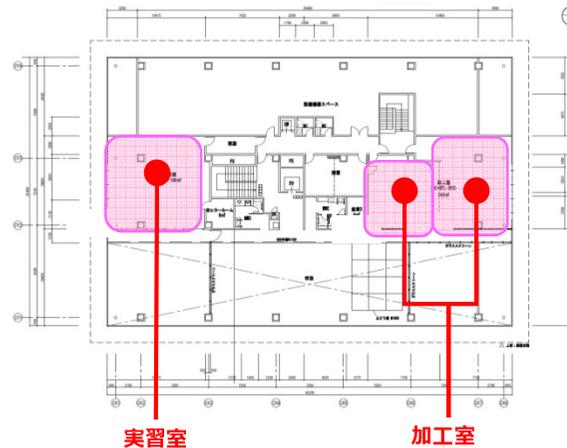


子ども・遊びゾーン
(屋外広場)

直売所スペース

2階

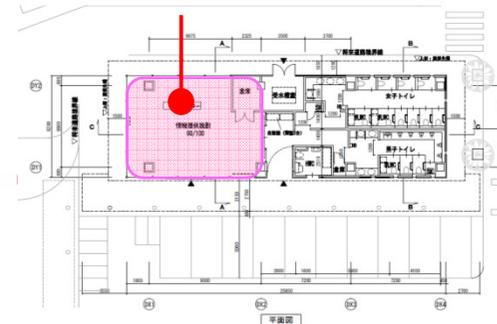
- ・実習室、加工室を設置
- ・料理教室等を行う実習室は眺望の良い西側に設置



実習室

加工室

情報提供施設



情報提供施設・トイレ

- ・道路情報に加え、周遊観光や芸術家村の総合案内も見える情報提供機能を設置
- ・トイレに向かうまで情報コーナーを通過するよう利用者動線を工夫